

平成25年度全国学力・学習状況調査 堺市結果

きっちり生活・しっかり学習

平成25年度全国学力・学習状況調査（平成25年4月実施）について、堺市の子どもたちの学力等の状況をお知らせします。

しっかりとした生活習慣や学習習慣を身につけることは、学ぶ意欲を高め、学力を向上させることにつながります。学校と教育委員会では、引き続き、学ぶ喜び、分かる楽しさを実感できる授業づくりに取り組みます。ご家庭においては、本リーフレットを活用し、お子様と日々の生活や学習の状況をとともに振り返り、今後のよりよい生活や学習の仕方について話し合ってください。

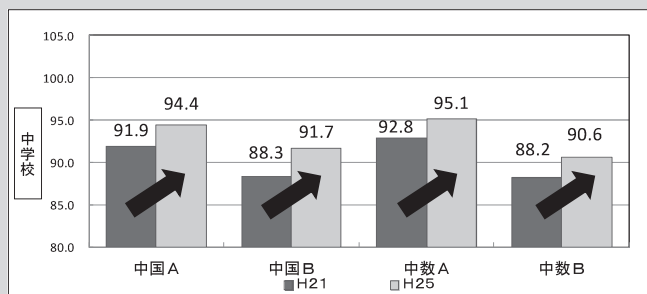
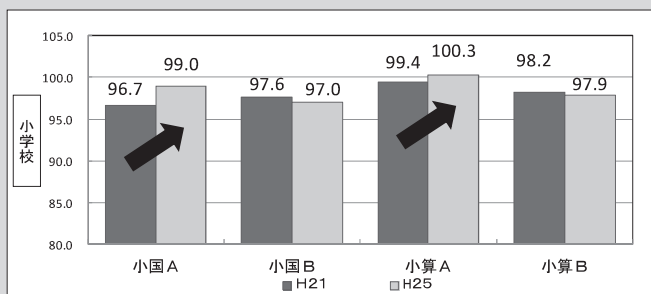
教科に関する調査

<各教科平均正答率(%)>

	教科 区分	小学校(6年)				中学校(3年)			
		国語		算数		国語		数学	
		A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
H25	堺市	62.1	47.9	77.4	57.2	72.1	61.8	60.6	37.6
	大阪府	61.2	47.9	77.1	57.3	73.3	63.0	61.7	38.8
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5
H21	堺市	67.6	49.3	78.2	53.8	70.8	65.8	58.2	50.2
	大阪府	68.3	49.4	78.4	53.8	72.7	68.3	59.9	52.5
	全国	69.9	50.5	78.7	54.8	77.0	74.5	62.7	56.9

※A区分・・・主として「知識」に関する問題 B区分・・・主として「活用」に関する問題

<前回調査との比較(堺市と全国との差)> 全国の平均正答率を100とした場合



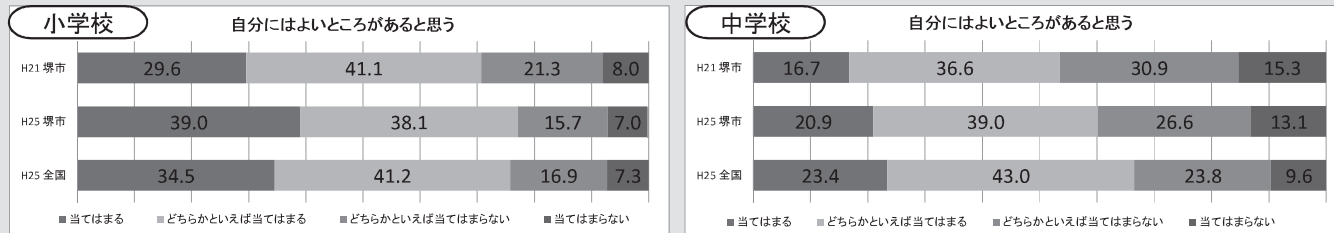
小学校では、基礎的・基本的な知識技能の定着に向けた反復学習や日常的に自分の考えを書く活動を取り入れたことにより、全体として府の平均を上回り、算数A(知識)で全国平均を上回るなど、知識に関するA問題で、改善がみられます。一方、活用に関するB問題については、引き続き、課題となっています。

中学校では、今まで課題がみられた基礎的・基本的な内容の復習や自分の考えについて、根拠を明らかにして書く活動をより多く取り入れたことにより、成果があらわれています。しかし、前回調査と比べ、全教科で全国及び府平均との差が縮まるなど改善傾向にあるものの、言語活動の充実が依然として課題です。

各学校の学力向上の取組により改善の傾向にありますが、知識を活用する問題については、小中とも全国平均を下回っており、考える力を育成する授業を積極的に取り入れるなど、言語活動の充実を中心とした授業改善に取り組んでまいります。

堺の子どもたちの自尊感情や規範意識が向上しています

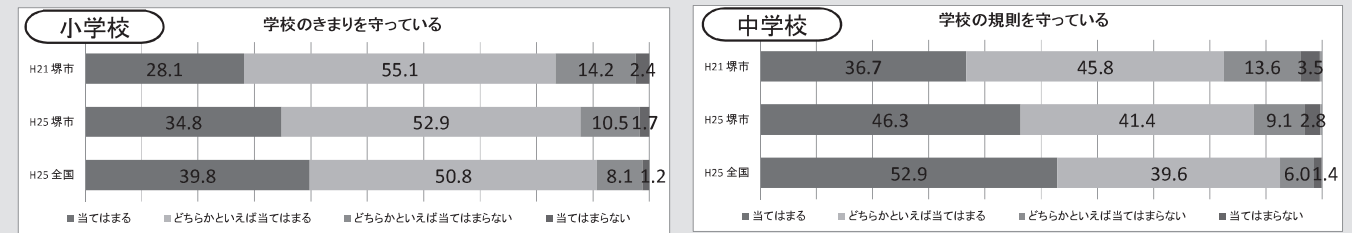
「自分にはよいところがある」と思う児童生徒が増えています



○「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合は、前回調査(H21)より小・中学校ともに増加し、小学校は全国平均を上回りました。「最後までやりとげてうれしかったことがある」児童生徒の割合も増加しており、一人ひとりが達成感を実感できるようにする取組の充実が自尊感情の高揚につながっています。

◎今後も引き続き、一人ひとりが活躍できる授業づくりや、互いのよさを認め合う仲間づくりなど、人権尊重を基盤とした教育活動の充実に取り組みます。ご家庭でも、日ごろからできたことをほめることに加え、できなくても努力していることを励ますなどの言葉かけをお願いします。

「学校のきまり（規則）を守っている」と思う児童生徒が増えています

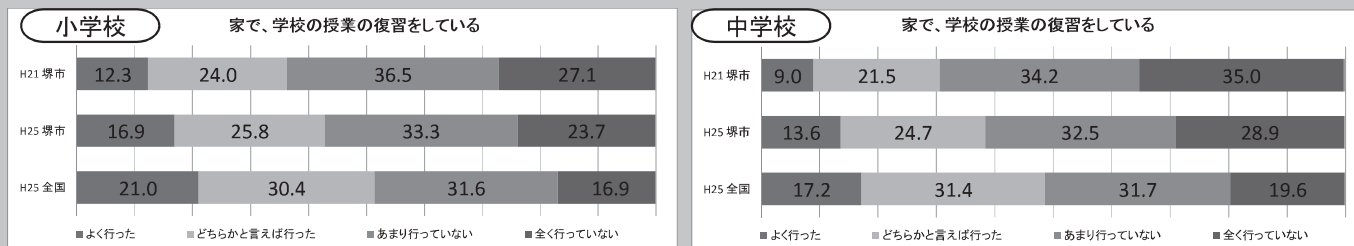


○「学校のきまり（規則）を守っている」児童生徒の割合は、前回調査(H21)より小学校で4.5P、中学校で5.2P増加しました。全職員の共通理解のもとに毅然とした態度でねばり強く指導を行うとともに、ルールの意義やマナーを遵守する大切さを理解させる指導を充実させたことなどが、児童生徒の規範意識の向上につながっています。

◎今後さらに、中学校区で共通した生徒指導の目標や重点を置く取組を決めるなど、組織的で一貫性のある指導の充実を図ります。また、学校での取組がより効果的になるように、ご家庭においても、ルールを守り、マナーを大切にすることをご指導をお願いします。

自学自習や読書をする習慣を身につけていくことが大切です

「家で学校の授業の復習をしている」児童生徒の割合が全国を下回っています



○「家で学校の授業の復習をしている」児童生徒の割合は、小学校で8.7P、中学校で10.3P、全国平均を下回っています。与えられた宿題に取り組む児童生徒は増えていますが、自分で計画を立てて学習したり、復習に取り組んだりしている児童生徒は少なく、自学自習の習慣を確立させることが大切です。

家で授業の振り返りをしやすいように、授業での学習内容がわかるノートづくりに努めます。ご家庭でも児童生徒が学校での学習内容を振り返りながら、自学自習を行えるように、次の支援をお願いします。

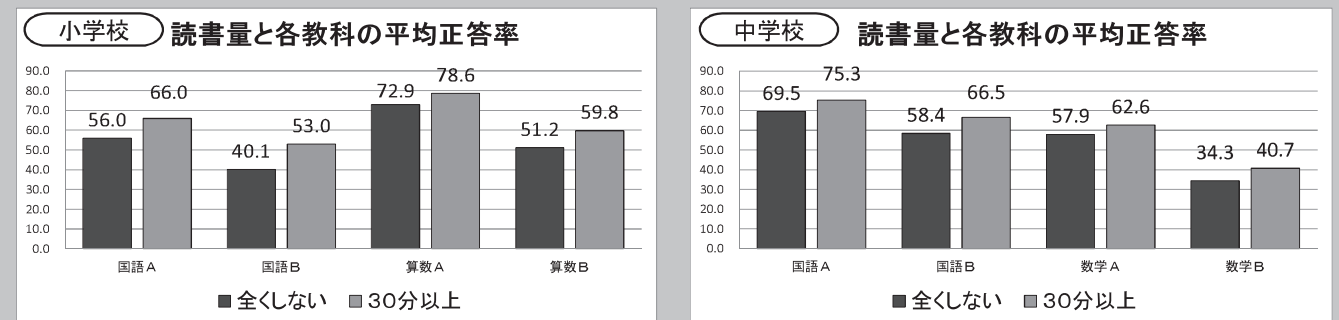
◆ステップ1 学習できる環境を整えましょう

一日の生活パターンの中に「学校から帰ってきてすぐに」「夕食の前に」など、確実に取り組める時間を確保しましょう。また、机やテーブルなどいつも同じ場所で、学習に集中して取り組める環境を整えましょう。

◆ステップ2 1週間の家庭学習の計画を立てましょう

自主学習の大まかな予定を立てて、子どもが目標と見通しを持って、学習に向かうようにしましょう。目標を達成した時はしっかりほめましょう。子どもたちの学習意欲が高まります。

読書をする習慣と学力には関連がみられます



○本を読む習慣を身につけることは、学力の土台を築くことにつながります。小中学校ともに読書を30分以上する児童生徒の方が全くない児童生徒より、すべての教科・区分において平均正答率が高くなっています。

今後も引き続き、堺スタンダードの一つである「朝読」や「堺市 読書ノート」の活用により読書へのきっかけづくりや習慣づくりを進めます。ご家庭でも次のことにご協力ください。

◆ステップ1: いっしょに本を読みましょう(小学校)

読み聞かせをしたり、家庭でいっしょに読書をしたりする時間を設けましょう。大人が本に親しむ姿をみせることも、子どもの読書への興味・関心を高めることにつながります。

◆ステップ2: 本について話しましょう(小学校高学年、中学校)

子どもが読んだ本を話題に語り合ったり、保護者の方がこれまで読んだ本について話したりすることが、読書の質を高めます。また、本だけでなく新聞などに親しむ時間も設けることで社会への関心も広がってきます。

一日のよりよい過ごし方を考えよう

家での7つのやくそく

◎ **早寝・早起き**の習慣をつけましょう

◎ **朝ごはん**を毎日食べましょう

◎ **家族との対話**を大切にしましょう

◎ 学校にもっていくものを**前日にたしかめ**ましょう

◎ 宿題など**自分から進んで勉強**しましょう

◎ **テレビやゲームの時間**を決めましょう

◎ **本を読む時間**をつくりましょう

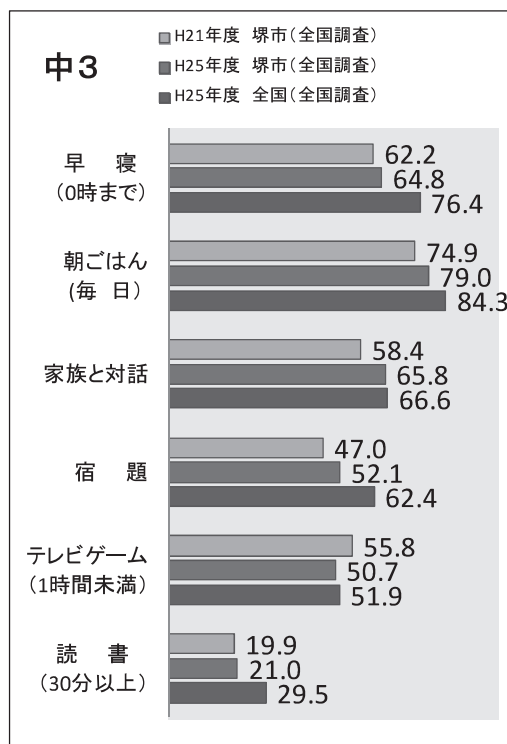
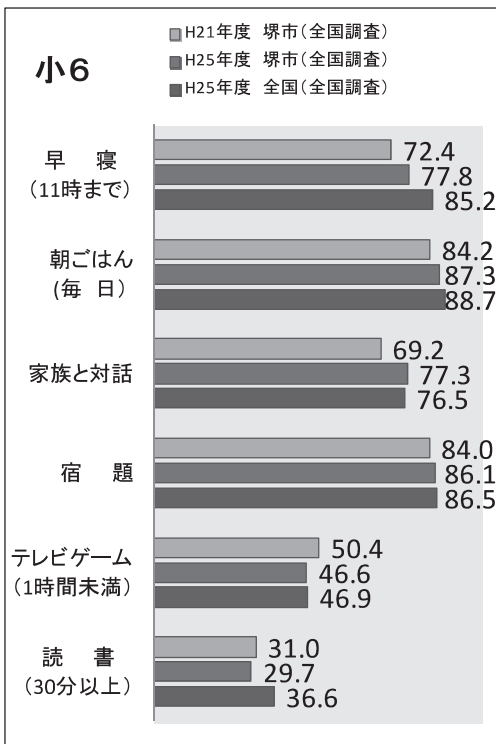


「家での7つのやくそく」にある、基本的な学習習慣や生活習慣は、学力と深い関係があります。



おうちに貼って、毎日確認してみよう。
できることから、少しずつ始めよう！

早寝、朝ごはん、家族と対話、宿題は平成21年度調査と比べて改善しており、家庭との連携により、児童生徒の生活習慣の改善につながっています。一方、テレビゲーム(携帯式ゲームも含む)や読書については、なお課題があります。



読書は短い時間でも毎日続けることが大切です。

ゲームをしたり、携帯電話等を使用したりすることについては、家族と相談して、時間を決めましょう。

子どもたちが毎日の生活を自分で整えることができるよう、今後ともご協力ください。

※前日準備に関する項目は、今回の質問項目には含まれていません。



堺市行政資料番号 1-K2-13-0240

編集・発行 堺市教育委員会事務局 学校教育部

TEL 072-228-7436 FAX 072-228-7421

URL <http://sed.sakai.ed.jp/>